

2019/2020 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

国際スケート連盟 (ISU) より世界ショートトラック選手権大会 (個人出場枠) および世界ジュニアショートトラック選手権大会における日本の出場枠が通知されたため、選考基準を追加発表する。

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【特記事項】

代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と入れ替えることがある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。このことは全ての派遣事業に対して同様の考えとする。

【ワールドカップ第1戦～第4戦】

((開催場所 / 期間))

第1戦 アメリカ (ソルトレークシティ) / 2019年11月1日～11月3日

第2戦 カナダ (モントリオール) / 2019年11月8日～10日

第3戦 日本 (名古屋) / 2019年11月29日～12月1日

第4戦 中国 (上海) / 2019年12月6日～12月8日

((派遣可能人数)) 男子6名・女子6名 (合計12名)

((選考基準))

対象競技会：第30回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会

(長野県・野辺山:帝産アイススケートトレーニングセンター:2019年10月12日～13日)

- i) 500m、1000m、1500mの3距離で、各距離の優勝者を選考する。(男女各1～3名)
- ii) 500mの優勝者を除いた500mの全ラウンドにおけるベストタイムが最上位の者を選考する。ただし、同タイムの場合は、500mの距離別順位の上位の者を選考する。(男女各1名)
- iii) 500mの全ラウンドにおけるベストタイムの順位と1000mの距離別順位に、それぞれ本選考基準に添付するショートトラック派遣選考用順位ポイント表 (以下選考用ポイント表とする) に従い、
 - i) ii) において選考されたものを含む男女別出場者全員にポイントを与え、それら二つを合算してランキングA1を作成する。続いて500mと1500mで距離別順位のよい方にポイントを与え、ランキングB1を作成する。上記のランキングA1とB1を合算したものでランキングC1を作成し、i) ii) の選考に続きランキングC1の上位者から5名になるまで選考する。ただし、合計獲得ポイントが同点の場合は500mにおけるベストタイムが上位の者を選考する。

- iv) iii)までに選考されていない者で、ランキングA1の中から上位3位以内の者を強化部推薦枠として、男女各1名を選考する。
- v) iv)までに選考されていない者で、ランキングA1の中から上位5位以内の者を、国際競技会での活躍の可能性を総合的に評価・検討し、男女各3名を補欠として選考する。

【第3回ユースオリンピック冬季競技大会 ショートトラック競技】

《開催場所 / 期間》スイス（ローザンヌ） / 2020年1月9日～22日

《派遣可能人数》男子2名・女子1名（合計3名）

《選考基準》

対象競技会：第12回ノービス&ジュニアカップショートトラックスピードスケート選手権大会第1戦兼 第3回ユースオリンピック冬季競技大会派遣選手選考競技会

（長野県・野辺山：帝産アイススケートトレーニングセンター：2019年11月2日）

- i) 500mと1000mの距離別順位に選考用ポイント表に従って取得したポイントを合算してランキングを作成する。2距離とも3位以内の成績を収めている者でランキング上位の者から男子を2名、女子は1名を選考する。ただし、獲得ポイントが同点の場合は1000mの成績が上位の者を優先する。
- ii) i)の選考において選考人数に満たない場合は、前出のランキング上位の者から選考する。獲得ポイントが同点の場合は1000mの距離別順位成績が上位の者を優先する。

選考対象競技会出場に関する制限：2002年1月1日以降2004年12月31日までに生まれた者

【四大陸ショートトラック選手権大会】

《開催場所 / 期間》カナダ（モントリオール） / 2020年1月10日～1月12日

《派遣可能人数》男子5名・女子5名（合計10名）

《選考基準》

対象競技会：第43回全日本選抜ショートトラックスピードスケート選手権大会

（兵庫県・神戸市：神戸市立ポートアイランドスポーツセンター：2019年11月23日～24日）

- i) 3000mスーパーファイナルを除く3距離(500m、1000m、1500m)のうち2距離以上で優勝した者を選考する。(男女各0～1名)
- ii) 3000mスーパーファイナルを除く3距離(500m、1000m、1500m)の距離別順位に選考用ポイント表に従いそれぞれポイントを与える。それを合算してランキングを作成し、その上位の者からi)に続き男女共2名になるまで選考する。但し、合計獲得ポイントが同点の場合は500mの距離別順位が上位の者を選考する。
- iii) i) ii)に続いて、ワールドカップ第1戦～第4戦に派遣された選手及び選考時の補欠選手の中から、強化部推薦により男女各3名を選考する。

【ワールドカップ第5戦・第6戦】

《開催場所 / 期間》

第5戦 ドイツ（ドレスデン） / 2020年2月7日～9日

第6戦 オランダ（ドルドレヒト） / 2020年2月14日～16日

《派遣可能人数》男子6名・女子6名（合計12名）

《選考基準》

対象競技会：

第30回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（以下距離別選手権とする）

（長野県・野辺山；帝産アイススケートトレーニングセンター：2019年10月12日～13日）

第42回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会（以下全日本選手権とする）

（長野県・野辺山；帝産アイススケートトレーニングセンター：2019年12月22日～23日）

- i) 全日本選手権の総合優勝者。（男女各1名）
- ii) 全日本選手権の500m優勝者を含む500mの全ラウンドにおけるベストタイムが最上位の者を選考する。ただし、同タイムの場合は、500mの距離別順位の上位の者を選考する。（男女各1名）
- iii) 全日本選手権の500mで全ラウンドにおけるベストタイムの順位と1000mの距離別順位、および、500mと1500mで距離別順位（同順位の場合は500mを対象）のよい方にそれぞれ選考用ポイント表に従い、i) ii)において選考されたものを含む男女別出場者全員にポイントを与え、それら二つを合算したポイントの50%でランキングA2を作成する。それに、距離別選手権で作成したC1の獲得ポイントの50%を合算したランキングC2を作成し、i) ii)の選考に続いてランキングC2の上位者から4名になるまで選考する。ただし、合計獲得ポイントが同点の場合は500mにおけるベストタイムが上位の者を選考する。
- iv) iii)までに選考されていない者でリレー競技を加味し、ランキングC2の中から上位5位以内の者を強化部推薦枠として、男女各2名を選考する。
- v) iv)までに選考されていない者で、ランキングC2の中から上位5位以内の者を、国際競技会での活躍の可能性を総合的に評価・検討し、男女各3名を補欠として選考する。

【世界ショートトラック選手権大会】

（開催場所 / 期間）韓国（ソウル） / 2020年3月13日～15日

（派遣可能人数） A) 個人戦出場枠 男子3名・女子2名+補欠男女各1名

B) リレー出場権はワールドカップでの最終ランキングにより決定される。

リレー出場権を得た場合、個人戦出場を含む最大男子5名・女子5名

（合計10名）を派遣する。

（選考基準）

対象競技会：ワールドカップ第5戦 ドイツ（ドレスデン） / 2020年2月7日～9日

ワールドカップ第6戦 オランダ（ドルドレヒト） / 2020年2月14日～16日

- i) ワールドカップ第5戦・第6戦に派遣された選手のうち、ワールドランキングならびに次に掲げる戦績等に鑑みて総合的に考慮し、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により補欠を含め選考する。
 - ・ワールドカップ第1戦～第6戦における個人種目でのメダル獲得
 - ・ワールドカップ第5戦・第6戦における個人種目での入賞
 - ・ワールドカップ第5戦・第6戦での体調ならびにパフォーマンス力
 - ・ワールドカップ第6戦終了時点における500mランキング
 - ・全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会での成績
 - ・練習状況および体調
- ii) リレー出場権を得た場合は、ワールドカップ第5戦・第6戦の成績ならびに事前合宿での練習状況や体調・コンディショニングを総合的に考慮し次に掲げる戦績等に鑑みて、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議によりi)の選考に続いて決定する。

- ・ワールドカップにおけるリレー種目でのメダル獲得
- ・ワールドカップにおけるリレー種目での入賞
- ・ワールドカップ第1戦～第6戦における戦績
- ・ワールドカップ第5戦・第6戦での体調ならびにパフォーマンス力
- ・国際大会ならびに合宿における①連携状況、②作戦理解度、③作戦実行力
- ・練習状況および体調

【世界ジュニアショートトラック選手権大会】

（開催場所 / 期間） イタリア（ボルミオ） / 2020年1月31日～2月2日

（派遣可能人数） A）個人戦出場枠（男子各距離3名・女子各距離2名）

B）リレー種目出場は、個人戦出場を含む最大男子4名・女子4名（合計8名）を派遣する。

（選考基準）

対象競技会：第39回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会

（大阪府・大阪市：丸善インテック大阪プールアイススケート場：2019年12月7日～8日）

i）ワールドカップ第4戦に派遣された世界ジュニア対象年齢の選手を選考する。

該当選手は対象競技会への参加を免除する。

ii）500m、1000m、1500mで2距離以上優勝した者を選考する。

iii）ii）までで選考された者以外で、選考種目である3距離（500m、1000m、1500m）のいずれにおいても3位以内の成績を収めた者について、対象競技会におけるそれぞれの距離別順位に選考用ポイント表に従いポイントを与え、3距離の取得ポイントを合算し、合算ポイント最上位者から順に選考する。但し、獲得ポイントが同点の場合は1000mのランキング上位の者を優先する。

iv）i）ii）iii）の選考において派遣人数に満たない場合は、選考種目である3距離（500m、1000m、1500m）の取得ポイントを合算し、iii）までで選考された者を除くポイント最上位者から順に選考する。但し、獲得ポイントが同点の場合は1000mのランキング上位の者を優先する。

v）各距離にエントリーされる選手は、派遣される男女各4名から、次に掲げる戦績等に鑑みて決定する。ただし、事前合宿での練習状況や体調・コンディショニングを総合的に考慮し、変更する場合もある。

- ・ワールドカップ第4戦に派遣された者。ただし、ワールドカップ第4戦に派遣された選手が個人戦各種目出場枠を超えた場合は、全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会の各種目成績上位者を優先する。

- ・選考競技会における、各種目上位者を優先する。

※ 選考対象競技会後の代表選考委員会において、選考基準を満たす正選手のほか、上記選考基準における次点者から順に補欠選手3名を選考する。

選考対象競技会出場に関する制限：ISU一般規定108条2項に示すジュニア年齢であること。

※2000年7月1日から2005年6月30日までに生まれた者。

(公財)日本スケート連盟主催競技会
ショートトラック派遣選考用順位ポイント表

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others 1	

※ ベストタイムが同タイム（1000分の1秒）の場合、エリミネーションレース同様のポイントを与える。

（例：3位同着の場合、2名が3位のポイント獲得。次に続く選手は5位のポイント獲得）

※ 最初のラウンドでペナルティーを科された場合は出場人数+1の順位ポイントを与える。

※ イエローカードを受けた場合は当該距離のポイントが付与されない。